

活動団体： 特定非営利活動法人エイズ孤児支援 NGO・
PLAS

～わたしたちは、取り残された子どもたちが前向きに生きられる社会
を目指します～

団体の活動



アフリカで貧困や HIV/エイズによって取り残された子ども達が、前向きに生きられる社会をつくるため、ウガンダとケニアで現地パートナー団体と共に活動をしています。私たちは(1)エイズ孤児を抱えるなど脆弱な状況下に置かれた家庭を対象とした生計向上支援、(2)保護者と子どもを対象としたライフプランニング支援を柱として活動をしています。

<https://www.plas-aids.org/>



ママたちの路面店(ウガンダ)



キャリアカウンセリングの様子(ケニア)

インターンプロフィール

石田 彩華



学生時代のインドでのボランティアをきっかけに、国際協力に興味を持つ。その後、国内外の団体でインターンシップを経験。一般企業を経て、PLASに2023年3月より入職。

所属団体で活動するきっかけ

ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、学生時代の行動の原動力だった「世界から不平等をなくしたい」という想いを持つようになりました。その中で PLAS のとともに「つくる」という支援方法に共感し、参画しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

広報/資金調達担当として、PLAS の広報・イベント・寄付キャンペーンなどを担当しています。具体的には SNS や月 2 回のメールニュースの配信、毎週の現地レポート、イベントの企画・運営、クラウドファンディングのディレクションを担ってしています。また寄付者のみなさまや応援して下さるみなさまに「PLAS を応援したい」「寄付してよかった」と思っただけのように、様々な施策の検討・分析なども行っています。

スキルアップのためにしていること

私が HIV/エイズやアフリカについての知識が乏しいので、これらに関する記事を読み、知見を広げるようにしています。また担当している広報/資金調達の業務についても外部研修に参加し、学ぶようにしています。

海外研修について ~どこで何を行う予定？

ウガンダとケニアに渡航する予定です。寄付者のみなさまや応援して下さるみなさまに現地の情報をお届けするためにプロジェクトの受益者や現地パートナー団体のスタッフにインタビューをする予定です。

今後のビジョンは？

海外研修を通して、直接自分で見て感じた現地の様子や活動を自分の言葉でみなさんにお伝えできるようになりたいです。またプロジェクト実施のための資金調達ができるファンドレイザーになることも今後の目標です。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

まずはボランティアやインターンなどに挑戦するのが良いと思います。国際協力といっても様々な課題があるので、経験することで、自ずと携わりたい課題や自分の思い、携わり方が見

えてくると思います。

団体アピール

PLAS は 2005 年に設立され、2023 年で18年目を迎えます。これまで 3147 名の子どもたちと、685 家庭を支援してきました。またこの夏からケニアの早すぎる妊娠の問題にも取り組みます。